

## 7 土木費

### 1 土木管理費 1 土木総務費

[担当：道路課 H20 管理課] P.270

2501 道路管理に要する経費 8,351,153 円 (15,600,792 円)

[その他 8,351,153 円]

\* 特財内訳

[使用料：道路使用料 4,962,793 円]

[使用料：法定外公共物使用料 2,536,720 円]

[使用料：自由通路広告灯占用料 851,640 円]

道路管理に要する経費の中で主な事業については次のとおりである。

(1) 道路台帳整備委託 5,250,000 円

目的

道路管理者が、その管理事務を円滑に遂行するために道路台帳を整備する。

内容

市道の認定・廃止及び道路改良工事等により、道路台帳に変更が生じた箇所について調書・図面を加除し最新の状況で管理した。

・箇所 市内全域

・委託概要 道路の新設 2,840m 道路の改良 940m

効果

道路台帳を最新の状態に更新し、市道の適正な管理ができた。

(2) 私道整備補助 1,000,000 円

目的

私道の整備を推進することにより、住民の利便性と道路環境の向上を図る。

内容

現に一般通行に寄与している私道に対し、市から補助することによって整備推進を図った。

整備箇所	施工内容	補助率	金額
永山地区	永山地区3-1排水側溝改修工事 U字排水側溝 巾250mm×141.3m	75%	1,000,000 円 (上限1,000,000 円)

効果

私道(側溝)の整備により、住環境の改善が図れた。

(3) その他

需用費 石杭・プレート・ガソリン代等 435,120 円

役務費 車検手数料・自動車損害保険料 18,702 円

使用料及び賃借料 道路排水管敷地借上料 166,515 円

有線放送聴取料 68,040 円

道路敷地借上料 338,843 円

公用車リース料 139,860 円

負・補・交 排水路施設整備負担金 916,873 円

補・補・賠 自動車損害賠償金 17,200 円

## 2 道路橋りょう費 1 道路橋りょう総務費

[担当：水とみどりの課] P.272

2001 小堀の渡し運航に要する経費 13,336,480 円 (10,900,469 円)

[その他 132,900 円 一財 13,203,580 円]

\* 特財内訳

[使用料：渡船使用料 132,900 円]

### 目的

利根川の水辺利用と利根川の歴史及び自然学習の一環として、さらに親しみのある河川利用、水辺の充実を進めていく上で、単に河川敷の利用のみに終わるのではなく、川と対岸を含めた一体的空間として親しみの持てる利用を図るため運航する。

### 内容

運航事業にかかる船(定員 12 名)、船着場等の維持管理経費である。3 点間の運航とし、レンタサイクル事業と合わせて利用者増を図った。

報償費	5,000 円
旅費	7,000 円
役務費	24,300 円
需用費	3,199,180 円
委託料	10,101,000 円

### 年間利用人数

年 度	利用者数(大人)	利用者数(小人)	年間利用者数
H19	1,908 人	694 人	2,602 人
H18	1,714 人	534 人	2,248 人

### 効果

誰でも利用できる「小堀の渡し」として、利根川の観光資源に寄与した。

[担当：道路課 H20 管理課] P.272

2101 街路灯の維持管理に要する経費 55,832,042 円 (55,169,671 円)

[その他 181,224 円 一財 55,650,818 円]

\* 特財内訳

[諸収入：自由通路広告灯電気使用料 181,224 円]

### 目的

道路の交通安全及び防犯のために、街路灯の維持管理を行う。

### 内容

年 度	管 理 本 数	うち新設本数	年間修繕件数
H19	10,823 本	57 本	3,868 件
H18	10,750 本	60 本	3,745 件

需用費	消耗品	357,000 円
	光熱水費	36,538,878 円
	修繕料	16,299,940 円
委託料	街路灯管理システム保守点検	315,000 円
工事請負費	街路灯設置工事	1,991,680 円

備品購入費 街路灯用 ポール 25本 329,544円

効果

道路の交通安全の確保、生活道路の安全及び通勤通学等の防犯効果をあげることができた。

[担当：道路課 H20 管理課] P.274

2201 小堀路線バス運行に要する経費 15,852,610円 (16,835,410円)

[一財 15,852,610円]

目的

小堀地区住民の生活交通手段として、安全性・利便性を図るため路線バスを運行する。

内容

中型バス2台で、午前6時から午後9時まで、「小堀地区」と「かたらいの郷」間を運行した。

小堀路線バス運行事業委託料 15,750,000円

清掃及び草刈り委託 102,610円

効果

路線バスを運行することにより、小堀地区の生活交通手段として利便性を高めることができた。

## 2 道路橋りょう費 2 道路維持費

[担当：道路課 H20 管理課] P.276

2001 道路維持補修に要する経費 141,734,228円 (115,195,939円)

[地方債 18,000,000円 その他 46,061,843円 一財 77,672,385円]

\* 特財内訳

[使用料：道路使用料 46,043,770円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 18,073円]

[市債：市道整備事業債 24,000,000円 × 75% = 18,000,000円]

目的

市道の維持管理を行うことにより、交通安全及び住環境の保全を図る。

内容

部分的な補修等については、原材料を購入し職員で対応し、抜本的な補修を要する箇所については専門業者にて対応した。また、道路法面の草刈等についても同様に専門業者に委託した。

需用費	修繕料	57,455,475円
	光熱水費	4,090,949円
委託料	道路清掃委託料	1,139,250円
	街路樹管理委託料	24,417,750円
	街路樹消毒委託料	1,501,500円
	取手駅東西口駅前広場及び ギャラリーロード清掃委託料	9,966,600円
	エレベーター点検委託料	617,400円
	エレベーター	

エスカレーター監視委託料		604,800 円
エスカレーター点検委託料		2,444,400 円
藤代駅自由通路清掃委託料		623,700 円
道路草刈委託料		13,830,600 円
道路排水用ポンプアップ		
施設点検委託料		2,476,950 円
樹木伐採委託料		199,500 円
一里塚及び戸頭駅前清掃委託料		315,000 円
その他委託料		3,197,250 円
使用料及び賃借料		3,295,732 円
原材料費	道路舗装及び補修材料	9,902,682 円
	二次製品	2,213,770 円
その他賃金等（臨時職員分）		3,440,920 円

効果

道路の交通安全の確保と緑化推進を図り住環境の向上に努め、常時良好な状態に保つことができた。

[担当：道路課 H20 道路課・管理課] P.278

2601 道路維持に要する経費 63,809,298 円（65,440,872 円）

[地方債 45,000,000 円 一財 18,809,298 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 46,263,000 × 95% 43,800,000 円]

[市債：市道整備事業債 1,669,500 × 75% 1,200,000 円]

目的

道路施設の維持工事を実施し、交通安全確保を図る。

内容

事業費内容等は次のとおりである。

(単位：円)

事業名	事業費	事業内容
ふれあい道路維持 (市道 0106 号線)	15,435,000	工事費 13,440,000 施工監理委託料 1,995,000 L = 143m W = 11.0m
都市計画道路 3・4・7 号 道路維持(市道 0118 号線)	30,828,000	工事費 30,828,000 L = 275m W = 7.0m
大留道路維持 (市道 6113 号線)	1,669,500	工事費 1,669,500 L = 70m W = 6.0m
藤代地内維持 (市道 4456 号線)	4,226,250	工事費 4,226,250 U字溝 L = 116m
萱場地内流末維持 (市道 3102 号線)	3,066,000	工事費 3,066,000 人孔 1 基 集水桝 2 基 U字溝 L = 6.0m

櫛木地内冠水対策 (市道 4425 号線)	1,680,000	工事費 塩ビ管布設 200mm L = 83m	1,680,000
東 6 丁目道路維持 (市道 4196 号線他)	3,229,548	不動産鑑定料 用地代 補償費	199,500 2,990,048 40,000
小文間山王台道路維持 (市道 5033 号線)	3,675,000	調査委託料(擁壁補強) L = 80m H = 5.0m	3,675,000

効果

路面、道路排水が整備され、道路の機能維持が図れた。

## 2 道路橋りょう費 3 道路改良費

[担当：道路課] P.282

20 道路改良に要する経費 170,156,475 円 (259,352,460 円)  
42,275,000 円

は、うち 18 年度繰越分

[地方債 133,300,000 円 37,600,000 円 一財 36,856,475 円]

\* 特財内訳

[市債：市道整備事業債 16,306,500 × 75% 12,200,000 円]

[市債：合併特例債 88,061,865 × 95% 83,500,000 円]

[市債：合併特例債 37,707,500 × 95% 35,800,000 円 ]

[市債：地域再生事業債 37,707,500 × 5% 1,800,000 円 ]

目的

生活に密着した道路を拡幅整備し、緊急時の救急車両の通過や交通の利便性を図る。

内容

平成 19 年度は、15 路線の事業を実施した。各路線の事業費内容等は次のとおりである。

(単位：円)

事業名	事業費	事業内容	
2019 下高井水砂 (市道 1563 号線)	2,869,320	不動産鑑定料 工事費 用地代 補償費 L = 13.0m W = 4.0m	42,000 892,500 599,400 1,335,420
2039 井野台二丁目 (市道 4077 号線他)	1,050,000	測量設計委託料 L = 60m W = 5.2m	1,050,000
2052 白山一丁目 (市道 4120 号線)	2,840,290	用地代 補償費 L = 98.0m W = 4.0m	1,710,000 1,130,290

2062 双葉 (市道 0131 号線)	38,762,500	施工監理委託料 工事費 L = 136m W = 6.0m	2,467,500 36,295,000 18,340,000
2063 清水 (市道 0142 号線)	72,791,500	詳細設計委託 工事費 L = 200.0m W = 10.5m	1,785,000 71,006,500 21,467,500
2066 駒場四丁目 (市道 1500 号線他)	20,567,865	工事費 用地代 補償費 L = 253.6m W = 5.2m	5,460,000 13,433,445 1,674,420
2069 稲後田 (市道 2759 号線)	1,176,000	詳細設計委託 L = 40.0m W = 15.0m	1,176,000
2071 野々井向尻 (市道 2365 号線)	2,467,500	詳細設計委託 L = 200.0m W = 5.2m	2,467,500
2072 新町六丁目 (市道 2657 号線)	8,064,000	工事費 L = 93.0m W = 6.0m	8,064,000
2073 新取手五丁目 (市道 1377 号線)	3,870,000	工事費 L = 150.0m W = 5.2m	3,870,000
2076 大留 (市道 6062 号線)	2,887,500	測量設計委託 L = 490.0m W = 5.2m	2,887,500
2080 戸頭前畠 (市道 0107 号線)	2,625,000	詳細設計委託 L = 150.0m W = 5.0m	2,625,000
2082 本郷五丁目 (市道 3245 号線)	3,570,000	工事費 L = 89.0m W = 1.4m	3,570,000
2090 双葉三丁目 (市道 1377 号線)	4,672,500	工事費 L = 85.0m W = 4.0m	4,672,500
2091 相馬農協前踏切 (市道 0134 号線)	1,942,500	測量設計委託料 L = 70.0m W = 8.0m	1,942,500

#### 効果

生活道路が拡幅改良され、交通の円滑化と安全対策が図れた。

### 3 都市計画費 1 都市計画総務費

[担当：都市政策課 H20 都市計画課] P.286

0501 都市計画事務に要する経費（うち都市計画基礎調査業務委託）

5,008,500 円(0 円)

[国・県 2,500,000 円 一財 2,508,500 円]

\* 特財内訳

[県交：都市計画基礎調査交付金 2,500,000 円]

## 目的

都市計画の策定とその実施を適切に遂行するために、都市の現状、都市化の動向等についてできる限り広範囲なデータを把握し計画を策定する。基本的に都市計画の決定・変更はこの基礎調査の結果に基づいて行う。

## 内容

都市計画法第6条の規定により、概ね5年ごとに都市計画に関する基礎調査として国土交通省令で定めるところにより、人口、世帯数、建物の状況、土地利用及び地価、都市の変遷、都市施設の状況、市街地開発の状況、農業関係事業実施状況、防災状況、緑地、文化財等についての現状及び動向を調査する。

調査主体：茨城県及び取手市

調査方法：茨城県と取手市が作業分担し調査、資料収集、集計解析を行う。

費用分担：取手市の調査費用の1/2相当額を県が交付する。

調査機関：平成18年度～19年度（市町村調査）

平成20年度（県による集計解析）

## 効果

平成19年度は現況調査であるため、データの活用による成果が現れるのは平成20年度以降となる。今後、各種都市計画の変更や都市計画マスタープランの策定にあたっては、その根拠となるデータを明示することが不可欠となる。今回の調査により、ニーズにあった調査項目を最新の状態で参照することができ、精度の高いデータで検討材料とすることが可能となった。

[担当：都市政策課 地域振興室 H20 都市計画課] P.288

2501 都市交通政策の推進に要する経費 70,711,712 円 (189,421,580 円)

[国・県 5,316,000 円 一財 65,395,712 円]

\* 特財内訳

[国補：バス利用促進等総合対策事業費補助金 5,316,000 円]

## 目的

平成18年10月からコミュニティバス（ことバス）の運行を実施し、公共交通不便地帯の解消、高齢者等の交通弱者の社会参加機会の拡大、公共公益施設や中心市街地へのアクセス向上等を目的としている。

## 内容

ことバスの運行と共に、一層の利便性の向上を図るべく、平成20年4月の運行ルート・ダイヤの改正に向けた以下の作業を実施した。また、運行ルート・ダイヤ改正までの間、現行ルートを補う臨時ルートの運行を実施した。

- ・運行ルート、ダイヤの評価分析検証
- ・運行ルート、ダイヤの見直し方針の検討
- ・地域公共交通会議の設置開催
- ・運行ルート、ダイヤ見直しの事業計画素案の作成
- ・パブリックコメントの実施
- ・運行ルート、ダイヤ見直しの事業計画の作成
- ・事前周知活動の実施（ルート図・時刻表の各戸配布、広報紙掲載等）

## 月別・ルート別利用者数

(単位：人)

年 度		ことバス各ルート						
H19	運行 日数	中 央 循環東	中 央 循環西	西部	北部	東北部	東南部	合 計
4月	30日	3,889	4,149	781	1,187	690	1,631	12,327
5月	31日	3,771	4,337	812	1,270	681	1,628	12,499
6月	30日	3,889	4,357	740	1,174	717	1,912	12,789
7月	31日	3,881	4,725	733	1,313	764	1,900	13,316
8月	31日	4,051	4,932	828	1,354	753	1,735	13,653
9月	30日	3,620	4,291	776	981	681	1,665	12,014
10月	31日	3,827	4,669	740	1,156	850	1,849	13,091
11月	30日	3,756	4,190	656	1,059	856	1,828	12,345
12月	28日	3,421	4,032	637	981	776	1,765	11,612
1月	28日	3,510	3,758	602	993	796	1,853	11,512
2月	29日	3,995	4,157	521	1,129	809	2,060	12,671
3月	31日	4,088	4,351	634	1,270	910	1,932	13,185
合計	360日	45,698	51,948	8,460	13,867	9,283	21,758	151,014

(単位：人)

年 度		ことバス各ルート						
H18	運行 日数	中 央 循環東	中 央 循環西	西部	北部	東北部	東南部	合 計
10月	31日	4,463	4,415	1340	987	665	1,269	13,139
11月	30日	4,319	4,177	1311	952	685	1,326	12,770
12月	28日	3,850	3,977	1025	827	575	1,219	11,473
1月	28日	3,462	3,922	933	800	559	1,305	10,981
2月	28日	3,970	3,886	988	777	641	1,327	11,589
3月	31日	4,151	4,786	665	1221	715	1,542	13,080
合計	176日	24,215	25,163	6262	5,564	3,840	7,988	73,032

## 効果

平成19年度のことバスの利用者数は延べ15万人を超え、コミュニティバスの運行により、公共交通不便地帯の減少、高齢者等の日常の交通手段の確保、公共公益施設や中心市街地へのアクセス向上の効果が得られた。

## 3 都市計画費 2 建築指導費

[担当：建築課 H20 建築指導課] P.290

0501 建築指導事務に要する経費（うち耐震改修促進計画・地震防災マップ策定業務）  
4,830,000円(0円)

[国・県 2,415,000円 一財 2,415,000円]

\* 特財内訳

[国補：建築物耐震改修等促進事業費補助金 2,415,000円]

## 目的

市内の既存建築物の耐震性を確保するため、耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進することにより、既存建築物の耐震性能の向上を図り、今後予想される地震災害

に対して市民の生命、財産を守ることを目的とする。

内容

耐震改修促進計画策定業務委託	2,730,000 円
地震防災マップ(ハザードマップ)策定業務委託	2,100,000 円

効果

耐震改修促進計画により現状の耐震化率、今後の方針や目標を明らかにすることができた。

また、計画やハザードマップを作成し、閲覧等により市民に周知できる環境を整え、耐震改修等の啓発を促進したことにより、安全なまちづくりの実現に一步近づいた。

[担当：建築課 H20 建築指導課] P.292

1001 建築審査会に要する経費 265,500 円 (207,800 円)

[その他 265,500 円]

\* 特財内訳

[手数料：建築確認手数料 265,500 円]

目的

建築基準法に基づく特定行政庁の諮問機関として、様々な建築基準法上の案件について審議を行い、その審議結果を特定行政庁に答申する。

内容

建築基準法に規定する同意及び審査請求に対する裁決についての議決を行うとともに、特定行政庁の諮問に応じて、この法律の施行に関する重要事項を調査審議した。

平成 19 年度は 5 回開催し、報告 33 件、議案 5 件について審議を行った。

効果

建築審査会において、建築基準法に基づく許可等の審議が適正に行われ、良好な住環境整備に貢献した。

[担当：建築課 H20 建築指導課] P.292

1101 旅館等建築審査会に要する経費 133,600 円 (0 円)

[一財 133,600 円]

目的

取手市ラブホテル建築規制に関する条例に基づき設置された諮問機関として、ラブホテルに該当するかの審議を行い、その審議結果を市長に答申する。

内容

取手市ラブホテル建築規制に関する条例により設置された取手市旅館等建築審査会においてラブホテルの建築に該当するかを調査審査した。

平成 19 年度は 1 件の案件に関し 2 回開催し審議を行った。

効果

取手市旅館等建築審査会において適正な審議が行なわれ、市民の良好な住環境及び青少年の健全な教育環境の保護に寄与することができた。

[担当：建築課 H20 建築指導課] P.292

2001 狭あい道路拡幅事業に要する経費 3,380,000 円 (2,128,230 円)

[その他 3,380,000 円]

\* 特財内訳

[手数料：建築完了検査手数料 1,180,000 円]

[手数料：開発行為許可申請手数料 2,200,000 円]

(1) 狭あい道路拡幅整備補助金 1,083,000 円

目的

狭あい道路に接する敷地所有者等が建築行為を行う際に、建築基準法の規定により、既存塀等を撤去し道路を拡幅する場合に、既存塀等の撤去及び再築造費用を補助する。

これにより狭あい道路の拡幅を促進し、同法の主旨徹底を図るとともに快適な住環境の整備に寄与する。

内容

平成 19 年度の撤去、及び再築造の補助件数は次のとおりである。

( ) は前年度数値

補助金の名称	件数	金額
狭あい道路拡幅整備補助金	撤去 6 件 ( 8 件 )	394,000 円 ( 251,550 円 )
	再築造 7 件 ( 7 件 )	689,000 円 ( 576,680 円 )
計	13 件 ( 15 件 )	1,083,000 円 ( 828,230 円 )

効果

建築主の理解と協力が得られ、狭あい道路の拡幅整備が促進された。

(2) 建築行為等に係る分筆測量補助金 2,297,000 円

目的

狭あい道路に接する敷地所有者等が建築行為を行う際に、建築基準法の規定に基づき既存塀等を撤去し、道路を拡幅する場合の分筆費用を補助する。これにより狭あい道路の拡幅を促進し、同法の主旨徹底を図ると共に快適な住環境の整備に寄与する。

内容

平成 19 年度の地目替及び寄附の補助件数は次のとおりである。

( ) は前年度数値

補助金の名称	件数	金額
建築行為等に係る分筆測量補助金	分筆地目替 1 件( 2 件 )	50,000 円 ( 100,000 円 )
	分筆寄附 15 件( 8 件 )	2,247,000 円 ( 1,200,000 円 )
計	16 件(10 件)	2,297,000 円 ( 1,300,000 円 )

効果

建築主の理解と協力が得られ、狭あい道路の拡幅整備が促進された。

[担当：建築課 H20 建築指導課] P.292

2101 木造住宅耐震診断事業に要する経費 960,000 円 ( 5,760,000 円 )

[国・県 682,500 円 一財 277,500 円]

\* 特財内訳

[国補：建築物耐震改修等促進事業費補助金 480,000 円]

[県補：既存建築物耐震診断事業補助金 202,500 円]

## 目的

木造住宅の耐震診断を実施することで、地震に対する建築物の安全性に関する知識の普及・向上を図るとともに、耐震診断・改修を促進し地震に強いまちづくりを推進する。

## 内容

平成 19 年度の木造耐震診断件数は次のとおりである。

( ) は前年度数値

名 称	件 数	金 額
木造住宅耐震診断	30 件 ( 180 件 )	960,000 円 ( 5,760,000 円 )

## 効果

木造住宅の耐震診断結果により、所有者が建築物の耐震性を認識することで、耐震改修の重要性を理解することに寄与した。

## 3 都市計画費 3 地籍調査費

[担当：都市政策課 H20 管理課 地籍調査室] P.294

2001 地籍調査事業に要する経費 5,911,740 円 ( 7,095,279 円 )

[国・県 4,132,500 円 一財 1,779,240 円]

\* 特財内訳

[県負：地籍調査費負担金(対象基準額)5,510,000 円 × 3/4 = 4,132,500 円]

## 目的

一筆地ごとの土地について、所在・地番・地目・所有者・境界を調査・確認し、面積を測定して地籍図と地籍簿を作成し、土地に関するあらゆる施策の基礎となる土地の実態を明らかにする。

## 内容

### (1)井野台〔 〕・桑原〔 〕地区測量業務委託

井野台〔 〕地区について、調査実施地域の事前調査を行いながら、一筆地調査を実施し、各工程毎の測量業務を行った。

実施区域 井野台二丁目、井野の各一部

実施面積 0.20 k m<sup>2</sup>

調査筆数 597 筆

桑原〔 〕地区について、面積測定、地籍図、地籍簿を作成し、閲覧を実施した。

実施区域 桑原の各一部

実施面積 0.20 k m<sup>2</sup>

調査筆数 856 筆

井野台〔 〕・桑原〔 〕地区測量業務委託 2,934,750 円

### (2)地籍調査境界点修正測量業務委託

一筆地測量工程終了後の誤り等訂正申し出による境界点変更等に伴う修正測量作業を 5 点実施した。

地籍調査境界点(修正)測量業務委託 89,250 円

## 効果

(1) 土地に関するあらゆる施策の基礎資料として利用できた。

(2) 成果が法務局に送付され、公図が地籍図に切り替わり、登記簿が修正されるため一般に利活用された。

- (3) 公共事業における土地境界の明確化、事業経費の削減及び期間の短縮が図れた。
- (4) 税務事務遂行において利活用ができ、不公平課税の是正等が図れた。
- (5) 道路用地が明確となり、道路管理において利活用ができた。

### 3 都市計画費 4 土地区画整理費

[担当：道路課] P.298

2101 都市計画道路 3・2・40 号下高井・野々井線に要する経費 282,779,543 円  
 ( 249,250,140 円 )  
 85,580,000 円

は、うち 18 年度繰越分

[国・県 117,805,500 円 42,790,000 円 地方債 42,200,000 円 11,700,000 円  
 その他 72,485,610 円 21,395,000 円 一財 50,288,433 円]

\* 特財内訳

[国補：都市計画道路 3・2・40 号補助金  $85,580,000 \times 1/2 = 42,790,000$  円 ]

[国補：都市計画道路 3・2・40 号補助金  $154,700,000 \times 1/2 = 77,350,000$  円 うち  
 2,334,500 円は人件費に充当]

[市債：住宅宅地関連公共施設整備促進事業債

$85,580,000 \times 1/4 \times 55\% = 11,700,000$  円 ]

[市債：住宅宅地関連公共施設整備促進事業債

$154,700,000 \times 1/4 \times 55\% = 21,300,000$  円]

[市債：市道整備事業債  $24,612,000 \times 1/2 \times 75\% = 9,200,000$  円]

[諸収入：都市再生機構負担金（国補分）  $85,580,000 \times 1/2 \times 1/2 = 21,395,000$  円 ]

[諸収入：都市再生機構負担金（国補分）  $154,700,000 \times 1/2 \times 1/2 = 38,675,000$  円 うち  
 1,167,250 円は人件費に充当]

[諸収入：都市再生機構負担金（単独分）  $27,165,721 \times 1/2 = 13,582,860$  円]

目的

市の西部地区の東西軸 3 路線( 都市計画道路 3・4・5 号新道・みずき野線、国道 294 号、常総ふれあい道路 ) を結ぶ南北軸道路としてのネットワークの形成により、将来の需要に対応する道路として位置付けられ、交通混雑の緩和及び解消を図る。

内容

平成 19 年度の事業費、整備内容等は次のとおりである。

#### (1) 工事

・擁壁工事	178,571,500 円	66,661,500 円
・道路改良工事	27,142,500 円	18,900,000 円
・側道工事	11,130,000 円	
・歩道橋架設工事	24,612,000 円	
・付帯工事	892,500 円	

#### (2) 用地買収

・買収地先：	3・2・40 号下高井・野々井線（市道 0127 号線・市道 2774 号線）
・面積：	356.96 m <sup>2</sup>
・金額：	34,631,635 円

#### (3) 物件補償

- ・路線名： 3・2・40号下高井・野々井線（市道0127号線・市道2774号線）
- ・件数： 2件
- ・補償額： 135,465円

(4)業務委託

- ・境界測量業務委託料 364,350円
- ・土木積算システム保守点検業務委託料 361,620円

(5)使用料

- ・成型鋼板借上料 189,000円
- ・仮設用道路借上料 457,271円

効果

平成20年度の本工事に向けての整備、並びに用地買収等が順調に進捗した。

### 3 都市計画費 5 街路事業費

[担当：道路課] P.304

2002 都市計画道路3・4・3号上新町環状線（寺田工区）に要する経費 15,190,292円  
(372,670,388円)

[地方債1,900,000円 一財13,290,292円]

\* 特財内訳

[市債：地方特定道路整備事業債 2,219,266×90% 1,900,000円]

目的

市内を循環する重要路線であり、早期に整備を促進する事により、市民の利便性の向上を図る。

内容

平成19年度の寺田工区の事業費、整備内容は次のとおりである。

(1)工事

- ・交差点部安全対策工事 1,837,500円
- ・道路改良付帯工事 105,000円

(2)業務委託

- ・用地管理委託料 1,386,000円

(3)用地買収

- ・買収地先： 3・4・3号上新町環状線（市道0114号線）
- ・面積： 457.94㎡
- ・金額： 8,700,860円

(4)物件補償

- ・路線名： 3・4・3号上新町環状線（市道0114号線）
- ・件数： 6件
- ・補償額： 2,505,411円

効果

平成18年度に当路線が開通したことにより、国道6号線と294号線の交差点に見られた混雑が緩和された。平成19年度は取付道交差点部の工事を実施し、より安全性が確保された。

[担当：道路課] P.304

2004 都市計画道路 3・4・3 号上新町環状線(井野工区)に要する経費

3,152,700 円 (10,268,500 円)

[地方債 2,800,000 円 一財 352,700 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 2,992,500 × 95% 2,800,000 円]

目的

市内を循環する重要路線であり、寺田工区の開通を受け、早期に井野工区の整備を促進する事により、市民の利便性の向上を図る。

内容

不動産鑑定料 2,992,500 円

事業認可看板作成 151,200 円

旅費 9,000 円

効果

平成 20 年度からの用地取得に向け、順調に進捗した。

### 3 都市計画費 6 都市排水費

[担当：排水対策課] P.306

2001 排水路の維持管理に要する経費 29,883,663 円 (18,405,033 円)

[一財 29,883,663 円]

目的

市内の都市排水施設の維持管理を行う。

内容

市内の雨水排水ポンプ施設の点検及び維持管理を行った。

需用費	消耗品費	6,300 円
	光熱水費	4,783,592 円
	修繕料	6,879,600 円
役務費	通信運搬費	64,747 円
	火災保険料	6,885 円
	賠償保険料	731,600 円
委託料	水路草刈委託料	1,643,100 円
	ポンプ場自家用工作物保安管理委託料	113,400 円
	排水路清掃委託料	6,452,250 円
	排水用ポンプアップ施設点検委託料	3,181,500 円
	緊急排水ポンプ設置委託料(長町・上郷樋管)	1,679,782 円
	調整池清掃委託料	4,305,000 円
原材料費	都市下水路補修材	35,907 円

効果

雨水幹線の完成する期間までの都市排水施設としての機能を発揮することができた。

[担当：排水対策課] P.308

2101 樋管の維持管理に要する経費 25,189,323 円 (52,505,671 円)

[その他 11,488,919 円 一財 13,700,404 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,000,000 円]

[諸収入：樋管管理業務受託収入 5,488,919 円]

目的

利根川及び小貝川への都市排水放流口である樋管の維持管理を行う。

内容

樋管及び排水機場の維持管理は業者に委託し、樋管の操作は地元と密接している各消防分団と民間に依頼した。

需用費	消耗品費	2,184 円
	光熱水費	2,841,826 円
	修繕費	813,225 円
	光熱水費	2,841,826 円
役務費	賠償保険料	353,030 円
委託料	樋管管理委託料	6,442,230 円
	草刈委託料	956,418 円
	沈砂池浚渫委託料	3,465,000 円
	電気保安委託料	578,760 円
	施設点検委託料	3,662,400 円
	排水管清掃委託料	42,000 円
工事請負費	排水機場施設工事	
	中谷津排水機場ゲート・電源改修工事	4,725,000 円
	新町排水機場発電機エンジン改修工事	325,500 円
	古戸排水機場機器改修工事	981,750 円

効果

利根川及び小貝川増水時は国土交通省と連絡を取り合っ樋管の操作を行い、市民の生活を守ることができた。

[担当：排水対策課] P.310

27 都市排水整備に要する経費 168,555,400 円 (313,790,165 円)

1,543,500 円

は、うち 18 年度繰越分

[地方債 95,900,000 円 一財 72,655,400 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 101,140,000 × 95% 95,900,000 円]

目的

雨水による浸水被害や道路が冠水しないよう、幹線排水路及び一般排水路の改修を行い、居住環境の改善を図る。

内容

平成 19 年度は、下高井 2 号雨水幹線、下高井雨水幹線、下高井特定土地画整理関連排水整備、北浦川 2 号雨水幹線、取手 1 号雨水幹線整備に要する負担金と、雨水浸水

被害を解消するために、稲地区、井野地区、永山地区、駒場地区の幹線排水整備工事を実施した。

また、事業毎の事業費内容等は次のとおりである。 (単位：円)

事業名	事業費	事業内容
2705 下高井2号雨水幹線	7,008,000	雨水排水整備負担金 7,008,000
2720 稲雨水幹線	13,769,500 1,543,500	家屋調査委託料 1,543,500 補・補・賠 546,000 工事費 11,680,000 L = 23.91m 2,000 × 1,500
2726 井野雨水幹線	14,175,000	工事費(ポンプ2台) 14,175,000
2728 下高井雨水幹線	4,575,000	雨水排水整備負担金 4,575,000
2736 下高井特定土地区画整理関連排水整備	30,000,000	排水整備負担金 30,000,000
2747 永山地区雨水排水	75,723,900	家屋調査委託料 438,900 工事費 75,285,000 L = 362.30m 400
2753 駒場地区雨水排水	9,597,000	実施設計委託料 3,675,000 工事費 5,922,000 L = 7.90m 2,000 × 900
2754 北浦川2号雨水幹線	3,723,000	雨水排水整備負担金 3,723,000
2755 取手1号雨水幹線	9,984,000	雨水排水整備負担金 9,984,000

#### 効果

今回の整備により、降雨による浸水及び道路冠水が解消され、雨水排水の改善を図ることができた。

雨水幹線の完成する期間まで都市排水施設としての機能を発揮した。

### 3 都市計画費 7 公共下水道事業費

[担当：排水対策課] P.312

2001 取手地方広域下水道組合負担金 1,852,000,000 円(1,908,000,000 円)

[一財 1,852,000,000 円]

#### 目的

公共下水道施設整備を実施し、下水道(汚水)供用開始区域の拡大を図る。

#### 内容

- ・ 県南クリーンセンター水処理施設改築更新詳細設計委託及び工事耐震診断業務委託
- ・ 汚水中継ポンプ場耐震診断業務委託
- ・ 枝線管渠整備(本郷、駒場、戸頭、白山、井野台、青柳、取手、東、台宿、小文間、新取手、宮和田、藤代、櫛木、谷中、上萱場地区内面整備) A 33ha
- ・ 地方債に係る元利償還金

#### 効果

公共下水道供用開始区域の拡大が図れた。

### 3 都市計画費 8 公園緑地費

[担当：水とみどりの課] P.314

0501 公園緑地事務に要する経費 3,013,533 円 (588,090 円)

[一財 3,013,533 円]

#### 目的

公園緑地事務及び公園管理用機器の維持管理を実施する。

#### 内容

旅費	9,860 円
需用費	1,334,663 円
役務費	250,885 円
使用料及び賃借料	1,063,125 円
負担金、補助金及び交付金	292,000 円
公課費	63,000 円

#### 効果

公園管理用機器の適切な維持管理により、良好な公園の環境づくりが図れた。

[担当：水とみどりの課] P.314

2101 みどりのリサイクル推進に要する経費 389,575 円 (588,090 円)

[その他 315,000 円 一財 74,575 円]

\* 特財内訳

[繰入金：みどりの基金繰入金 315,000 円]

#### 目的

一般家庭などで不用になった樹木(庭木)を引き取り、それを必要とする市民に譲渡することにより、緑化の推進と意識の高揚を図る。

#### 内容

(1)樹木提供者からの引き取り及び移植工

申込件数 69 件

引き取り樹木数 475 本 (370 本) ( )内数値は前年度

(2)引き取り樹木の公開

11 月 15 日～29 日

(3)譲渡状況

引き渡し日 12 月 8 日(金)～9 日(土)

申込件数 61 件

譲渡した樹木数 240 本 (239 本) ( )内数値は前年度

需用費 74,575 円 委託料 315,000 円

#### 効果

みどりのリサイクル事業として市民の幅広い年齢層から支持され、樹木の有効利用が図れた。

[担当：水とみどりの課] P.314

2201 保存緑地・保存樹木等に要する経費 544,310 円 (720,290 円)

[その他 510,000 円 一財 34,310 円]

\* 特財内訳

[繰入金：みどりの基金繰入金 510,000 円]

目的

取手市緑の保全と緑化の推進に関する条例に基づき、市内の緑地・樹木・樹林を保存指定することにより、緑の保全に努める。

内容

- |                  |   |
|------------------|---|
| (1)保存緑地・保存樹木等助成金 | 460,000 円   |
| 保存緑地助成対象         | 21 件 194,000 円(10 円/m <sup>2</sup> ・限度額 10,000 円) |
| 保存樹木助成対象         | 54 本 162,000 円(3,000 円/本)                         |
| 保存樹林助成対象         | 7 件 104,000 円(20 円/m <sup>2</sup> ・限度額 20,000 円)  |
| (2)賠償保険          | 84,310 円  |

効果

市内の貴重な樹木・緑地等を保存指定し、助成金を支給することにより、所有者に適正な管理を実施してもらい、緑を保全することができた。

[担当：水とみどりの課] P316

2301 取手駅西口緑地花壇管理に要する経費 595,344 円 (590,883 円)

[その他 536,000 円 一財 59,344 円]

\* 特財内訳

[繰入金：みどりの基金繰入金 536,000 円]

目的

取手駅西口の緑地、花壇の適正な管理により、西口の景観保全を図る。

内容

花壇の花植替 3 回、寄植刈込 1 回、除草 3 回、清掃 36 回

需用費	59,844 円
委託料	535,500 円

効果

人通りの多い駅前広場に季節ごとに美しい花を咲かせ、通行人の目を和ませひと時の安らぎを与えるとともに、緑化意識の高揚を図ることができた。

[担当：水とみどりの課] P.316

2401 市民緑地整備に要する経費 450,000 円 (807,000 円)

[その他 450,000 円]

\* 特財内訳

[繰入金：みどりの基金繰入金 450,000 円]

目的

あけぼの市民緑地の適正な管理を図る。

内容

あけぼの市民緑地管理委託料	450,000 円
---------------	-----------

効果

市民緑地を適正に管理し、良好な状態を維持することにより、市民が快適に利用できた。

[担当：水とみどりの課] P.316

2501 緑化推進に要する経費 800,000 円 (850,000 円)

[その他 800,000 円]

\* 特財内訳

[繰入金:みどりの基金繰入金 800,000 円]

目的

緑化フェア等のイベントにより、市の緑化推進のための啓発を図る。

内容

取手市緑化推進委員会への委託料 800,000 円

効果

各イベントに参加して、緑化運動を推進し、緑の重要性に対する市民の理解と認識を深めるとともに、緑豊かな市の創造に寄与することができた。

[担当：水とみどりの課] P.316

2701 公園維持管理に要する経費 111,122,180 円 (91,872,071 円)

[その他 5,588,690 円 一財 105,533,490 円]

\* 特財内訳

[使用料:公園施設使用料 5,588,690 円]

目的

公園施設の維持管理を実施する。

内容

(1)公園施設の維持管理(業務委託)

場 所	作 業 内 容	回 数	摘 要
取手緑地運動公園	グラウンド抜根除草	2回～4回	69,659 m <sup>2</sup>
	機械除草	2回	33,348 m <sup>2</sup>
	芝刈り	4回	3,200 m <sup>2</sup>
	寄植内除草	2回	664 m <sup>2</sup>
	寄植刈込	1回	573 m <sup>2</sup>
とがしら公園	除草・草刈・芝刈り	通年	52,698 m <sup>2</sup>
	落ち葉清掃	4回	
	U字溝清掃	1回	
宮ノ前ふれあい公園	除草・草刈・芝刈り	通年	50,073 m <sup>2</sup>
31ヶ所の公園 (都市公園その1)	芝刈り	2回	19,116 m <sup>2</sup>
	除草	2回～3回	54,225 m <sup>2</sup>
	寄植刈込	1回	5,298 m <sup>2</sup>
	寄植内除草	2回	4,546 m <sup>2</sup>
21ヶ所の公園 (都市公園その2)	芝刈り	2回	33,670 m <sup>2</sup>
	除草	2回	27,836 m <sup>2</sup>
	寄植刈込	1回	2,152 m <sup>2</sup>
	寄植内除草	2回	3,906 m <sup>2</sup>
	池清掃	4回	相野谷排水機場記念公園

藤代地区公園管理 (14公園)	芝刈り	2回	3,810 m <sup>2</sup>
	除草	2回	13,280 m <sup>2</sup>
	寄植刈込	1回	3,780 m <sup>2</sup>
	寄植内除草	2回	6,350 m <sup>2</sup>
桜が丘地区公園管理 (17公園)	芝刈り	2回	22,080 m <sup>2</sup>
	除草	2回	22,050 m <sup>2</sup>
	寄植刈込	1回	5,320 m <sup>2</sup>
	寄植内除草	2回	8,760 m <sup>2</sup>
光風台地区公園管理 (自治会委託)	草刈・芝刈り・清掃	4回	11,348 m <sup>2</sup>
双葉緑道管理 (自治会委託)	草刈・芝刈り・清掃	4回	6,100 m <sup>2</sup>
桜が丘地区公園管理 (自治会委託)	草刈・芝刈り・清掃	4回	13,900 m <sup>2</sup>
小貝川緑地管理	芝刈り	4回	48,000 m <sup>2</sup>
	除草	1回～2回	145,200 m <sup>2</sup>
	寄植刈込	1回	7,500 m <sup>2</sup>
8ヶ所の公園	除草、清掃、ごみ収集	2回～3回	町内会、自治会等に委託

業務内容	公園数	回数	摘要
ごみ収集業務	7公園	年47回	可・不燃物 9,580Kg 資源ごみ 1,100Kg
公園内トイレ清掃	7公園	週3回	
公園内駐車施設管理	1公園	通年	駐車場鍵の開閉
運動施設管理	3公園	通年	施設の鍵の開閉

業務内容	公園名	摘要
樹木伐採剪定委託	寺前公園他1ヶ所	
産業廃棄物処理委託	各公園	
堆積物処分委託	緑地運動公園	台風9号に伴う堆積物処分

台風9号に伴う取手緑地運動公園ゴミ処理業務委託

(2)除草作業(直営)

62公園・・・4回～5回

緑地運動公園

(野球場外野、サッカー場、自由広場、多目的広場、園路広場)・・・17回～19回

(3)緑地運動公園復旧工事

台風9号に伴う復旧工事(少年・成年野球場、テニスコート)

効果

公園の適切な維持管理により、良好な公園の環境づくりを図ることができた。

[担当：水とみどりの課] P.318

2904 各公園改修整備事業に要する経費 3,250,800 円 (2,199,750 円)

[一財 3,250,800 円]

目的

老朽化した各公園施設の改修整備を行い、利用者の安全、及び利便性の向上を図る。

内容

公園内にある各施設の改修整備を実施した。工事内訳は下記のとおり。

工事費

新道公園ブランコ設置	234,150 円
サイクルステーション背伸ばしベンチ設置	514,500 円
つつじが丘第3公園フェンス改修	388,500 円
とがしら公園駐車場出入口改良	210,000 円
もくせい公園排水改良整備	199,500 円
永山ちびっこ広場フェンス設置	735,000 円
ふたば緑道四阿改修	259,350 円
光風台テニスコート面改修	682,500 円
桜が丘第20公園外灯引込改修	27,300 円

効果

公園の各施設の改修整備の実施により、利用者の安全及び利便性の向上が図られた。

[担当：水とみどりの課] P.318

2906 取手緑地運動公園整備事業に要する経費 2,257,500 円 (0 円)

[一財 2,257,500 円]

目的

取手緑地運動公園内の老朽化した既設簡易トイレを再整備するとともに、新たな要望箇所に、トイレを設置することにより、施設利用者の利便性の向上を図る。

内容

取手緑地運動公園トイレ設置工事 2,257,500 円

効果

施設整備により、利用者の利便性の向上が図られた。

[担当：水とみどりの課] P.318

3301 水辺利用推進に要する経費 1,392,780 円(1,671,465 円)

[一財 1,392,780 円]

目的

利根川及び小貝川河川敷等の水辺を広く市民に利用できるよう保全・整備するとともに、イベント等の開催により河川についての市民意識の高揚と水辺利用の推進を図る。

内容

利根川及び小貝川河川敷の自然と緑に親しみ、市民の交流、上下流の交通を通し、利水・治水・環境への意識高揚を図る。

旅費	15,580 円
需用費	38,000 円

役務費 127,600 円  
委託料

とりで利根川河川まつり実行委員会委託料 800,000 円  
レンタサイクル管理業務委託料 411,600 円

レンタサイクル利用者数

年 度	年間利用者数	市内利用者数	市外利用者数
H19	501 人	338 人	163 人
H18	608 人	417 人	191 人

効果

平成 19 年 10 月 7 日(日)に取手緑地運動公園において、「とりで利根川河川まつり」を開催し、河川及び河川敷に対する行政の取り組み、意欲をアピールできた。また 4 月末から 5 月上旬に実施した岡堰水神岬公園の鯉のぼりは、川面に鯉のぼりが雄大に映え多くの来観者があった。

[担当：水とみどりの課] P.320

3601 緑の少年団に要する経費 232,500 円 (255,000 円)

[その他 120,000 円 一財 112,500 円]

\* 特財内訳

[諸収入：森林愛護運動推進事業補助金 120,000 円]

目的

緑を愛し、緑を守り・育てる活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、自らの社会を愛する心豊かな人間形成を図る。

内容

「緑の少年団」として、学校及び団体が実施する森林愛護運動推進のための補助金負担金、補助及び交付金 232,500 円

効果

自然と緑に親しみ、活動を通じて心豊かな人間形成が図れた。

[担当：水とみどりの課] P.320

3701 フラワーカナル事業に要する経費 1,144,422 円 (1,775,662 円)

[一財 1,144,422 円]

目的

小貝川河川敷の花づくり(フラワーカナル：花の運河)を推進し、河川に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民の集う親しみある河川空間の創出を図る。

内容

フラワーカナル刈取委託料 409,500 円

春と秋の枯れ花の刈取

運営費補助金 235,000 円

47,000 円×5 団体

種子及び肥料購入代 499,922 円

効果

小貝川河川敷において、地域のボランティアによる春・秋の花づくりが行われ、河川

の美化が推進されるとともに、5月20日(日)には花まつりを開催し、市民の集う親しみある河川空間の創出が図れた。

[担当：水とみどりの課] P.320

3801 北浦川緑地管理に要する経費 19,439,094円(19,796,456円)

[国・県 9,719,547円 その他 83,200円 一財 9,636,347円]

\* 特財内訳

[県委：北浦川緑地管理委託金 9,719,547円]

[諸収入：北浦川緑地利用料 83,200円]

目的

緑地を適切に維持管理し、良好な状態を保つ。

内容

需用費 165,504円

委託料 19,259,100円

植栽管理(施肥、虫害防除、刈込、除草)1回~3回

芝生管理(刈込、目土掛け、施肥、病虫害防除、除草)1回~3回

清掃管理(園内・トイレ、ゴミ処理)2回/週、3回/月

施設保守点検(門扉開閉、巡視点検)毎日、2回/週

役務費 9,450円

原材料費 5,040円

効果

緑地の適切な維持管理により、市民の憩いの場として良好な環境づくりが図れた。

### 3 都市計画費 10 藤代駅南口整備事業費

[担当：藤代駅周辺整備課 H20 区画整理課] P.322

2101 藤代駅バリアフリーに要する経費 333,157,211円(15,697,000円)  
6,772,500円

は、うち18年度繰越分

[国・県 47,000,000円 2,000,000円 地方債 280,400,000円 3,800,000円  
一財 5,757,211円]

\* 特財内訳

[国補：都市再生交通拠点整備事業補助金  $135,000,000 \times 1/3 = 45,000,000$ 円]

[国補：都市再生交通拠点整備事業補助金  $6,000,000 \times 1/3 = 2,000,000$ 円]

[市債：新市町村づくり支援事業債  $200,000,000 \times 100\% = 200,000,000$ 円]

[市債：合併特例債  $(325,637,550 - 45,000,000 - 200,000,000) \times 95\% = 76,600,000$ 円]

[市債：合併特例債  $(6,000,000 - 2,000,000) \times 95\% = 3,800,000$ 円]

目的

取手市藤代駅周辺バリアフリー基本構想に基づき、常磐線藤代駅自由通路に昇降機を設置し、利用者の安全性の確保及び快適な移動性の向上を図ることを目的とする。

内容

事業年度 平成17年9月~平成20年3月

[委託料] 2件 4,442,550円 (単位：円)

委託名	業務内容	委託金額
藤代駅自由通路改修に伴う実施設計業務委託	建築・電気設計一式	3,717,000
多機能トイレ実施設計委託	建築・電気・設備設計一式	725,550

[工事請負費] 2件 327,967,500円 (単位：円)

工事名	工事内容	請負金額
19 国補藤駅第1号、19 単市藤駅第1号合併藤代駅自由通路バリアフリー化設備設置工事	エレベーター11人乗り車椅子対応型2基、エスカレーター幅員1m4基	321,195,000
18 国補藤駅第1号歩道切り回し工事	円形側溝撤去・新設工、歩車道境界ブロック撤去・新設工一式	6,772,500

効果

取手市藤代駅周辺バリアフリー基本構想に基づき、常磐線藤代駅自由通路に昇降機を設置し、利用者の安全性の確保及び快適な移動性の向上を図ることができた。

[担当：藤代駅周辺整備課 H20 区画整理課] P.324

2201 藤代駅南口周辺整備に要する経費 31,278,689円 (101,727,267円)

[その他 2,025,600円 一財 29,253,089円]

\* 特財内訳

[諸収入：藤代駅南口土地区画整理事業換地清算徴収金(過年度分) 1,920,000円]

[諸収入：藤代駅南口土地区画整理事業換地清算徴収金利息 105,600円]

目的

藤代駅南口土地区画整理事業の施行に伴う地区外の工事損失補償を行うことを目的とする。

内容

[委託業務] 委託件数2件 委託金額 5,533,500円

藤代駅南口土地区画整理事業の工事に伴い、隣接する住宅等に対する家屋等影響調査を実施した。

(単位：円)

委託名	業務内容	委託金額
19 単市委託第A-1号 工事影響費用負担説明業務委託	権利者16名、費用負担説明16回、再調査算定12軒、復旧費単価入替16件	2,352,000
19 単市委託第A-2号 工事影響費用負担説明業務委託	権利者24名、費用負担説明24回、再調査算定7軒、復旧費単価入替24件	3,181,500

[補償業務] 補償件数 39件 補償費 25,722,909円

藤代駅南口土地区画整理事業の工事に伴い、隣接する住宅等に対する工事損失補償を

行った。

(単位：円)

	平成 14 年度～ 平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度以降	合 計
補償件数	165	39	39	243
補償金額	264,222,913	25,722,909	17,575,000	307,520,822

効果

藤代駅南口土地区画整理事業の施工に伴い、区域に隣接する家屋等の工事損失補償を実施し、周辺地区に対する適切な対応を図ることができた。

#### 4 住宅費 1 住宅管理費

[担当：都市政策課 H20 管理課] P.326

2001 市営住宅管理に要する経費 42,478,627 円 (47,586,324 円)

[その他 30,757,533 円 一財 11,721,094 円]

\* 特財内訳

[使用料：住宅使用料 29,981,533 円]

[諸収入：駒場住宅汚水処理場施設維持管理費(過年度) 50,000 円]

[諸収入：住宅防火施設整備事業補助金 726,000 円]

目的

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃の賃貸住宅を供給することによって、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。

内容

##### (1) 市営住宅の管理

###### ア 管理戸数

年 度	管理戸数	建 設	用途廃止
H19	318 戸	0 戸	0 戸
H18	318 戸	0 戸	0 戸

###### イ 運用状況

年 度	管理戸数	利用戸数	空家戸数	政策空家戸数
H19	318 戸	258 戸	41 戸	19 戸
H18	318 戸	255 戸	45 戸	18 戸

###### ウ 入居者募集状況

年 度	募集戸数	応募者数	入居戸数	辞退者数
H19	8 戸	9 人	7 戸	0 人
H18	13 戸	22 人	11 戸	0 人

###### エ 入退居件数

年 度	入居(うち公募外)	退 居
H19	8 件(1 件)	6 件
H18	11 件(0 件)	6 件

- (2) 市営住宅修繕
- 小破修繕 2,217,186 円
  - 募集修繕 3,329,259 円
  - 床改修等内部修繕 2,437,034 円
- (3) 業務委託
- 駒場住宅高架水槽清掃委託料 87,150 円
  - 大利根住宅沈殿槽等清掃業務委託料 462,000 円
  - 市営住宅空地等草刈業務委託料 926,725 円
  - 汚水雨水管清掃委託料 115,500 円
  - 分筆測量業務委託料 349,650 円
  - 訴訟代理委託料 945,000 円
- (4) 市営住宅工事
- 大利根住宅改修工事 12,348,000 円
- (5) 市営住宅敷地借上料 47,510.05 m<sup>2</sup> 17,362,848 円
- (6) 備品購入
- 図書 3,540 円
  - 住宅用浴槽・風呂釜 121,800 円
  - 住宅用火災警報器 246 個 1,162,350 円
- (7) その他（旅費、消耗品、火災保険料等） 610,585 円

(8) 市営住宅使用料収入状況

区 分	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額
現年度分	26,390,800 円	25,317,300 円	1,073,500 円
滞納繰越分	35,310,132 円	4,664,233 円	30,645,899 円

効果

低額所得で住宅に困窮している方に、低廉な家賃で住宅を賃貸することで生活の安定と社会福祉の増進が図れた。